



Webサービス アダプタ ご紹介

製品概要

「Webサービス アダプタ」とは

指定したWSDLを元にSOAPを用いてWebサービスを呼び出しデータを連携することができるアダプタです。

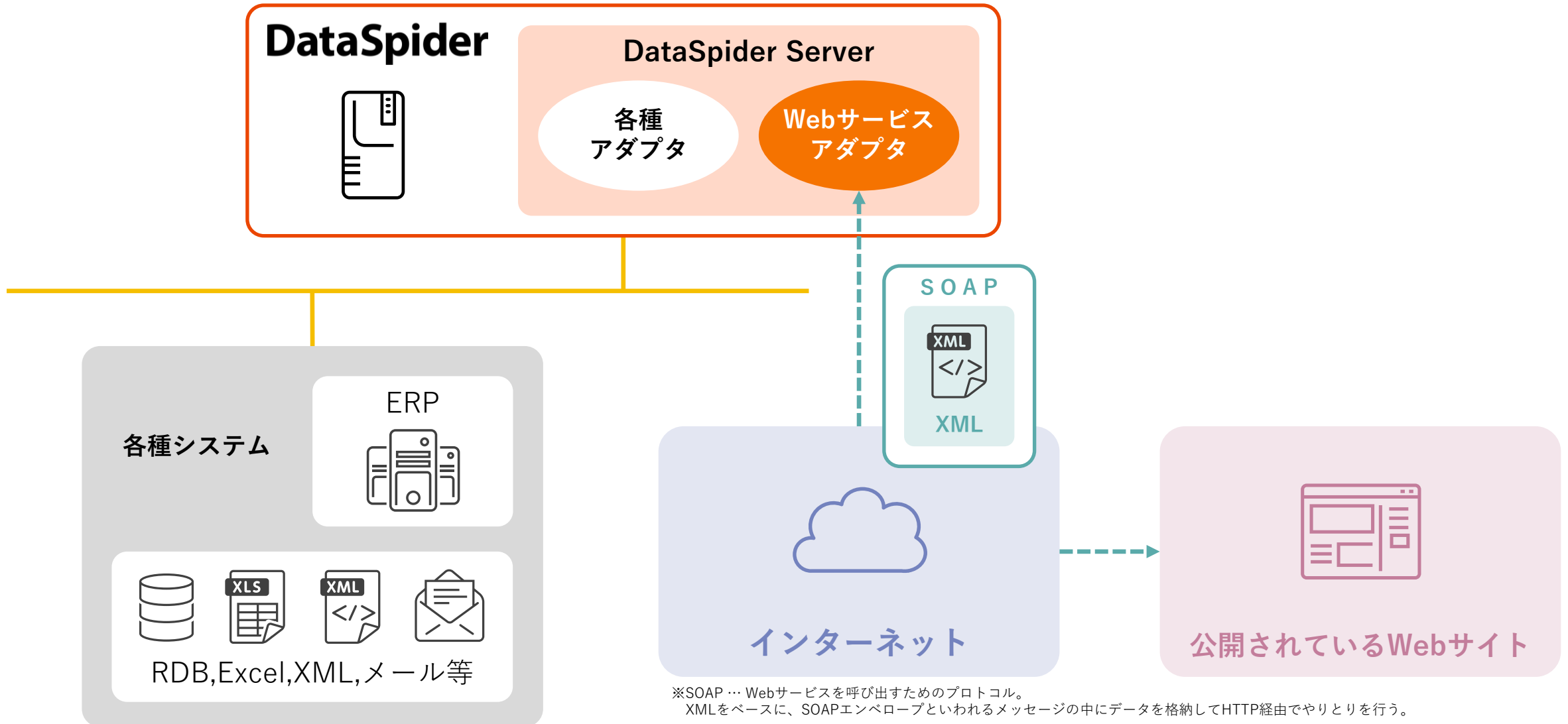
主な特徴

- ・ SOAPを利用した通信が可能
- ・ WSDLを解析し設定に必要な情報を表示
- ・ SOAPエンベロープを手動で設定可能
- ・ 入力データの送信/結果データの取得が可能
- ・ クライアント証明書が必要な接続先に接続可能
- ・ 添付ファイル付き SOAP メッセージ (MIME) の送受信が可能

*WSDL (Web Services Description Language)

製品構成と連携イメージ

製品構成と連携イメージ：Webサービス アダプタ

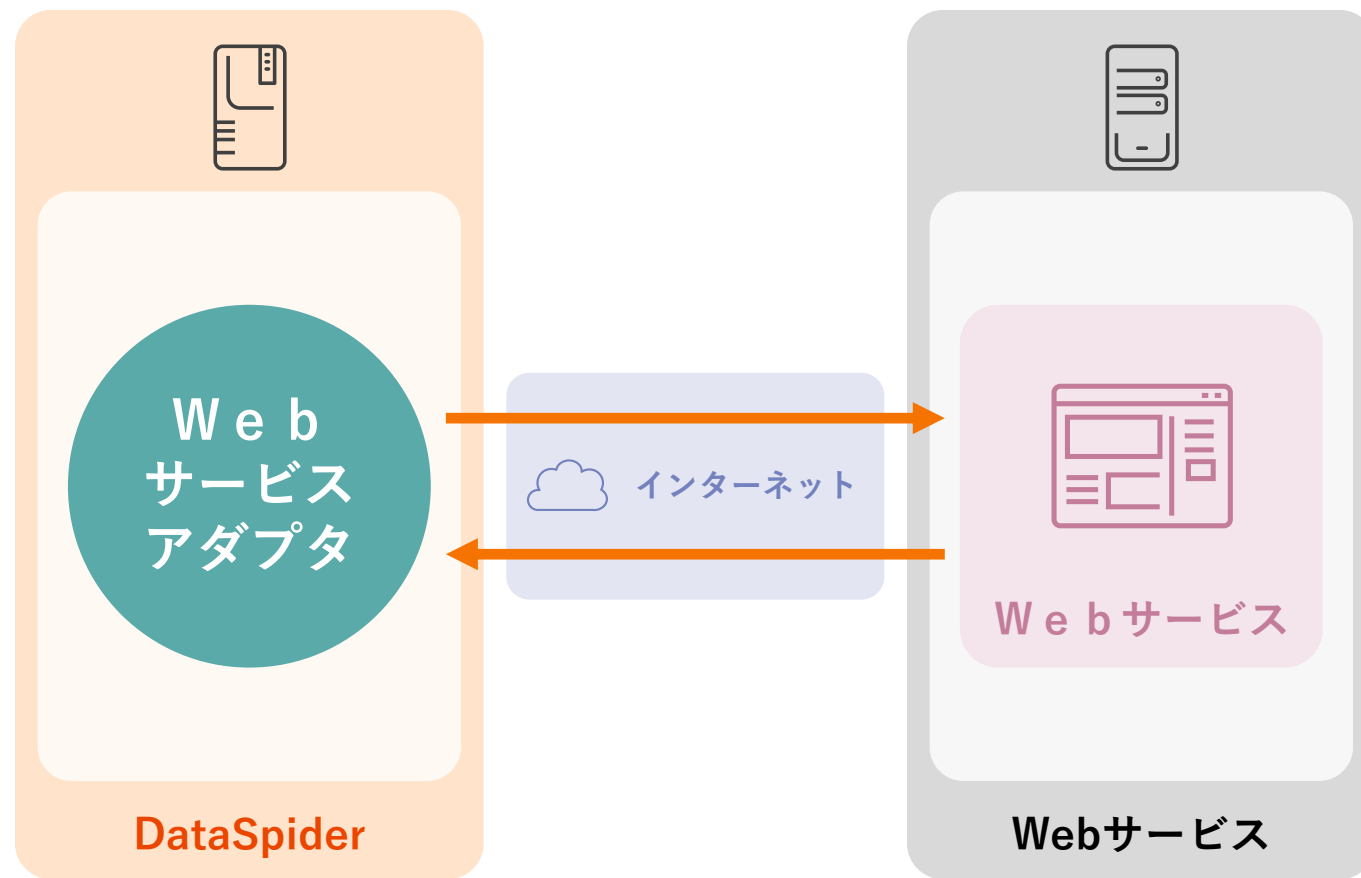
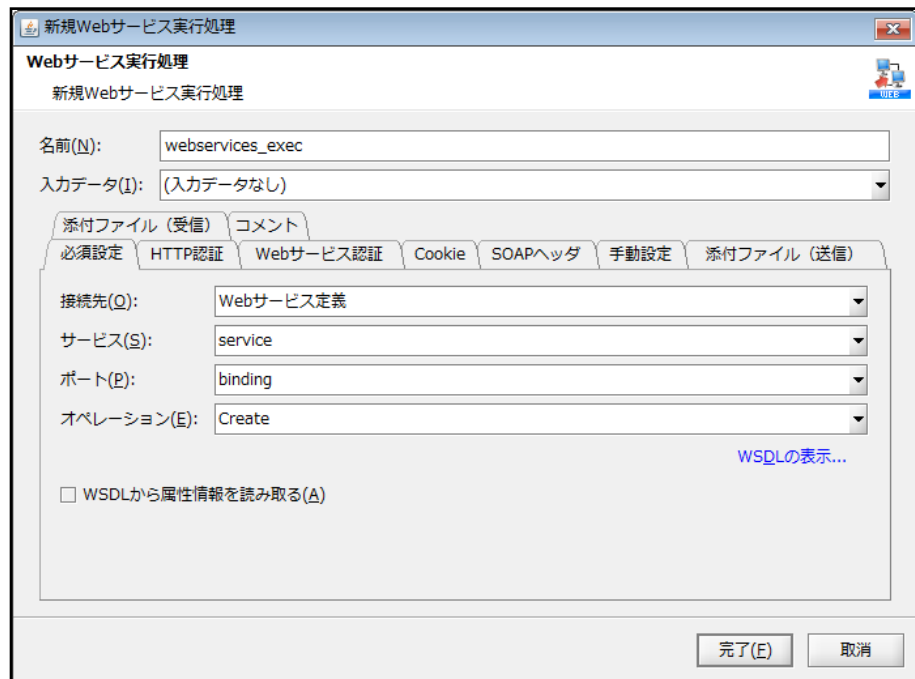


各種処理の設定

Webサービス実行処理

設定されたWSDL、サービス、ポート、オペレーションを元にWebサービスを呼び出します。

※「手動設定」にて直接SOAPのエンベロープを手動で設定することが可能です。

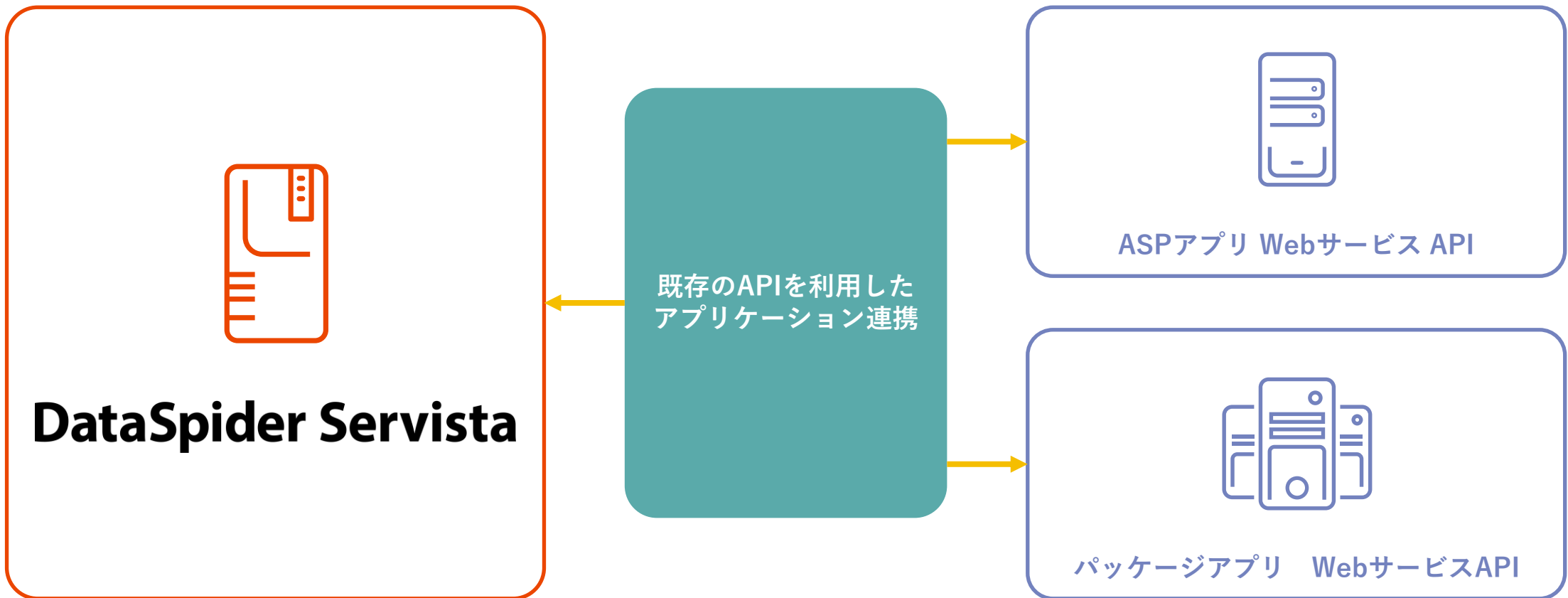


適用パターン

適用パターン

■ 既存アプリケーションとの連携

異なるアーキテクチャであるアプリケーション同士をWebサービスで連携



Webサービスアダプタ導入メリット

1. 様々なアプリケーションとの連携

- アプリケーションとの疎結合での連携が可能
- ASPなどとの連携も可能
- JavaのAPIが公開されていなくても連携が可能

※アプリケーション側でWebサービスが公開されている必要があります。

2. インターネット経由での連携

- Webサービスを利用してインターネット経由での連携が可能

3. SOAによるシステムの構築

- Webサービストリガーと組み合わせることによりサービス構築ツールとして利用
- 大規模ではないシステムに対してもSOAを適用



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。